



# 疑いなく、世界のカルテットの中でも最高の一つ

(ロサンゼルス・タイムス紙)



クリストフ・ヘンシェル  
(ヴァイオリン)  
Christoph Henschel



カタリン・デサーガ  
(ヴァイオリン)  
Catalin Desaga



モニカ・ヘンシェル  
(ヴィオラ)  
Monika Henschel



マティアス・バイヤー=カルツホイ  
(チェロ)  
Mathias Beyer-Karlshoj

## ヘンシェル弦楽四重奏団 Henschel Quartett

ドイツの正統派の弦楽四重奏団。ロンドンの王立音楽カレッジに学んだ双子のヴァイオリン奏者、クリストフとマルクス、ヴィオラのモニカというヘンシェル家の姉弟が、1994年デンマーク王立音楽アカデミー出身のチェリスト、マティアス・バイヤー=カルツホイと弦楽四重奏団を結成、これが今日のヘンシェル弦楽四重奏団の出発点となった。

その後、ミュンヘン音楽演劇大学のF.バイヤー教授、アマデウス弦楽四重奏団、アルバン・ベルク四重奏団などの薫陶を受け、1995年エヴィアン国際弦楽四重奏コンクール、バンフ国際弦楽四重奏コンクールなどで5つの賞を受賞。1996年には大阪国際弦楽四重奏コンクール第1位を受賞。以来、ドイツを拠点に、英米圏でも演奏と教育活動を行う。

日本にも度々来日。2012年にはサントリーホールにてベートーヴェンの弦楽四重奏曲を全曲演奏。

レパートリーは古典から現代ものまで200曲以上、録音でもドイツ・シャルプラッテン批評家賞など、数多くの賞を受賞。特にArte Novaレーベルより発売されているメンデルスゾーンの弦楽四重奏曲全集はベストセラーとなっている。

昨年、それまで6年間メンバーとしてヴァイオリンを担当したダニエル・ベルがカタリン・デサーガに交替した。

私がヘンシェルQと出会ったのは1991年の夏、アマデウスQのセミナーでのこと。そこに集う優秀な若手弦楽四重奏団の中でも際立って若く輝いていたのが、ミュンヘンから来た彼らだった。ヘンシェル3姉弟の父親はシュトゥットガルト放送交響楽団の首席ヴィオラ奏者、母親はピアノとチェンバロ奏者として名を馳せ、彼らは子供の頃からアマデウスQのメンバーや、指揮者のチェリビダッケが自宅に寝泊まりするという環境で育った。一方、1994年から参加したチェリスト、マティアス・バイヤー=カルツホイも、ヴィオラ奏者としてメロスQや、アマデウスQと共演したF.バイヤー(元ミュンヘン音楽演劇大学教授)を祖父にもつサラブレッドの家系である。ヘンシェルQと私は、私がヴィオラを務めたり、あるいは澤クワルテットとして数々の共演を重ねて来たが、2011年のダニエル・ベル、そして昨年カタリン・デサーガへの第2ヴァイオリンの交替を経て、更なる表現の幅の広がりを獲得したように思える。今回の公演でもベートーヴェンの大作をメインに、巨匠たちから受け継いだ伝統の音楽を聴かせてくれることだろう。

澤 和樹(東京藝術大学 学長)

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

### 宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は  
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

### 会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

■交通アクセス  
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008  
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター  
営業時間:10:00~18:00  
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)